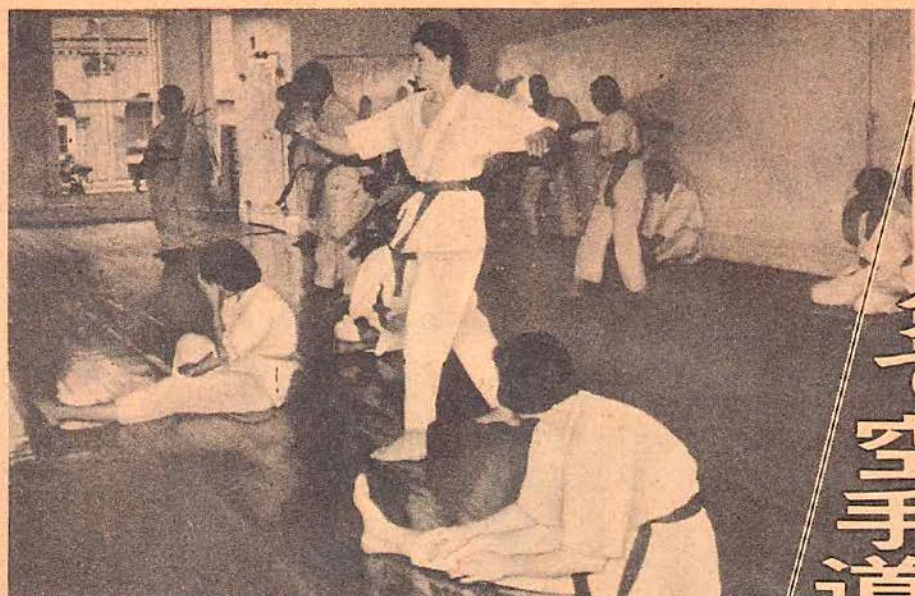


内陸版

最上支社 電話35580
 新庄支局 電話35800
 尾花沢支局 電話01665
 尾花沢市尾花沢
 村山支局 電話25530
 東根支局 電話02970
 天童支局 電話02970
 天童市本町 電話02970

ニューヨークで空手道場

新庄市飛田出身の空手家、岸信行さんがニューヨーク・マンハッタン島で極真会空手の指導を始めて十年になる。言葉や体格のハンディを乗り越え、今は独立して「KISHI KARATE SCHOOL」の立ち上げ。ビルの五階の道場で、さまざまな肌の弟子を相手に日本の武道を手ほどきしている。先日、たまたま帰郷した岸さんに、その心意気を聞いてみた。



新庄出身の岸さん

岸道場の練習風景と店内は岸さん

後、上京して極真会の総帥、大山培遠さんの内弟子として腕を磨いた。二十三歳の時、指導員として台湾に派遣され、二年後帰国。一年とたたないうちにアメリカ行きを、指令された。



身長百七十センチと日本人としてはやや小柄な岸さん。相柄だけに、その中で頭角を現して行くには人一倍の努力が必要。自分の進む方向を見失い、麻薬などにおぼれていく人も多いたという。「精神・肉体両面で強い人間を育てる場として道場を続けてきた」と岸さん。アパートには日本からの留学生、旅行者、ジャズマンなどが集まっては去って行くが、暗く張る日本人」として後輩たちを激励している。

日本男児の心意気高く

青い目の弟子100人

「小が大制す」身をもって指導

岸道場があるのは高層アパートや商店が建ち並ぶマンハッタン南部のソーホー地区。ビルのワンフロア約三百五十平方メートルを借り切っている。人種のるつぼ、といわれる大都会のと真ん中だけに、門下生も白人黒人スペイン系、毎ニューヨーク大学、ワシントン広場を核に学生や音楽、美術、芝居などを自指す人たちが、毎日昼夜それぞれ一回、約二時間、たむろしている。護身、鍛錬の工高時代に空手を始め、卒業いこに打ち込み、小さくとも練

ソーホー地区はグリニッジ・ボカ練習や舞台のストレス、緊手は平均百八十センチという欧米人、張感をいやしに道場に足を運ぶだ。しかし、マンハッタン支部員

「小が大制す」身をもって指導

「小が大制す」身をもって指導

「小が大制す」身をもって指導

(伊藤)